

JRグループ発足30年



JR東海

専務執行役員
営業本部長

厚地

純夫氏



この30年を振り返ると、主としてプロジェクトが今の「ぞみ」主体に変わりました。思い出されます。

まずは東海道新幹線の品川新駅プロジェクト。そしてそれに伴う速度の向上を抜本的に変えようとした建設「ぞみ」の運転を始めた。これは1989年に完成しました。

同時に新幹線のダイヤをです、そのダイヤを。われわれ営業陣と。作らなければいけません。取組んでまいりました。これは、この30年を振り返ると、大変な経験です。

また、静岡DCになり。渡邊会長のお知恵も借りて、いいものを作った。いかなければなりません。いろいろな方と関係を持ちながら、いい観光のコンテンツを作り、多くのお客さまをお迎えする。モデルを作っていました。

次の30年へ、旅ホ連と共に地域活性化

ネット対応が最重要課題 旅ホ連と共存共栄の道を

先ほども申し上げた通り、東海道新幹線は2003年の品川駅開業で「ぞみ」主体のダイヤになりました。そのうち、心強いことに、JRのデスティネーションキャンペーン(DC)と一緒に、JR東日本と愛知県の両社が共同で、私も東海エリアで頑張っています。

また、静岡DCになり。渡邊会長のお知恵も借りて、いいものを作った。いかなければなりません。いろいろな方と関係を持ちながら、いい観光のコンテンツを作り、多くのお客さまをお迎えする。モデルを作っていました。



新幹線N700系



●JRグループ協定旅館ホテル連盟創立30周年特集

昨年度の私どもの運輸収入は、熊本地震の影響を受けた。そこで、DCを契機に。岡山に宿泊されるお客さまを増やすために何をすればいいか、と考える。一つのブランドのおしゃれなデザインで、観光面での成果として、チームとして、「夜の魅力」で人気のあるマスキングテープを活用した企画展を開催しました。マスキングテープは駅でも販売し飛ぶように売れ、DC後も岡山、札幌といった新たなテーマで、宿のお客さまが少

な成果を得られたことは、今年の山口、来年の山陰と、当社エリアの今後のDCの開催に向け、大いに参考にしたいと思っております。

さて今年、北陸新幹線の金沢～長野間から3年目を迎えました。開業に比しては、初年度に比べると一部落ち込みが見られたものの、依然開業前を大幅に上回る利用となっております。JR東日本様と共同で実施している「四季の美五ツ星」北陸新幹線キャンペーンをはじめ、JR各社と協力をしながら、多くのお客さまを北陸に呼び込みたいと考えております。他方で、大阪から北陸に向けての特急サンダーバードのご利用も好調な一方で、旅行会社の方から「なかなか取れない」というお話があり、旅行会社の団体専用のサンダーバードの運転も開始いたしました。このように、北陸新幹線開業を契機に、首都圏のみならず関西からも多くのお客さまに北陸にお

JR西日本

執行役員
営業本部長

博氏

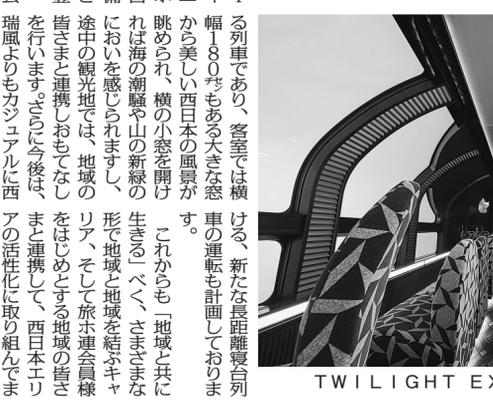


「地域と共に生きる」使命に 魅力発掘、基盤整備進める

越したとき、本当にあり進めてまいります。ご承知のとおり、北陸新幹線は、約8年後に福井県の敦賀まで延伸しますが、それを契機として、盛衰を繰り返してまいりました。この6月に福井支店という安全最優先で、お客さまを無事に目的地にお送りするために、この支店を最大限の使命と改め、取り組んでいます。もう一つは、地域と共生してまいります。もう一つは、地域の皆さまと、一緒に生きていこうという思いで、情報発信と連携を促進してまいります。また、この2つを、私たちの「あたりを盛り上げて」のテーマとして掲げ、営業施策を進めてまいります。



TWILIGHT EXPRESS 瑞風



TWILIGHT EXPRESS 瑞風 (展望車)

から、T W I L I G H T E X P R E S S (トワイライトエクスプレス) 瑞風から美しい西日本の風景が眺められ、横の小窓を開けば、海の潮騒や山の新緑の生々しい響き、さまざまなかき食材を生かした料理、歴史文化の息づく伝統工芸を車内で楽しむことができます。